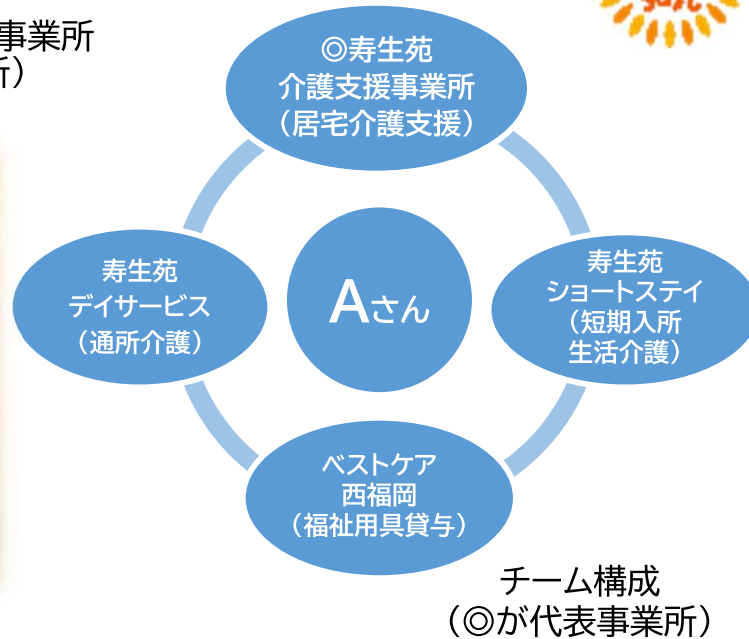


チームスローガン
自宅で過ごすために

目標
「家で生活したい」

○ご利用者
Aさん、80代、女性 **要介護3→要介護2に改善!**

○代表事業所
寿生苑介護支援事業所
(居宅介護事業所)



寿生苑介護支援事業所は、西区の高齢者総合支援施設内「寿生苑」にある居宅介護支援事業所です。社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域社会と共生することを大切にされています。

Aさんは骨折入院後、在宅での生活を強く希望されていました。転倒なく生活するための意欲への後押しになればと、本事業へご参加いただきました。

取組み内容

Aさんは明るく前向きな性格で、長年住み慣れた自宅での生活を続けたいという強い思いがありました。過去には複数回の骨折があり、また認知症の進行がみられました。退院時には施設入居を勧められるほどリスクが高い状況でしたが、「家に戻りたい」という本人の希望とその希望を叶えたいというご家族の思いを尊重し、チームでの取組みを行いました。

退院後、ショートステイを利用しながら生活訓練を実施して在宅生活に必要な動作を確認。介護用ベッドの導入等で起居動作を安定化させ、また火の取扱いやエアコン操作は家族や送迎スタッフがサポートして安全対策を実施。



デイサービスとショートステイを組み合わせ、服薬や入浴、歩行の訓練や自宅の2階へ上られるような階段昇降の訓練も行われました。

地域での顔見知りが多く何かあれば連絡があり、民生委員の方の見守りも受けて生活が維持できました。

チーム内に同一法人の事業所が多いこともあり、事業所内の情報共有がスムーズに行われ支援方針を見直しながら、ご自宅での生活が継続されています。

ご本人が希望する生活を送ることができていることに支援者一同嬉しく思っています。これからもご本人の望む暮らしが少しでも実現できるよう、ご家族、医療機関、サービス事業所と協力しながら支援してまいります。
<寿生苑介護支援事業所 増本様より>

チームスローガン

身体機能アップ！！～旅行実現への旅路～

目標

- 「旅行へ行きたい」
- 「東京在宅の次男宅へ行きたい」
- 「親戚のいる京都へ行きたい」

○ご利用者

Bさん、80代、男性 **要介護2→要介護1に改善！**

○代表事業所

百年橋リハビリテーション病院
(通所リハビリテーション)



取組み内容

Bさんは病気や手術を経て、外出は杖歩行、屋外は奥様の付き添いが必要になりました。それでも「東京の次男宅に行きたい」「京都の親戚に会いたい」「温泉旅行に行きたい」という想いがありました。

「旅行に行きたい」という目標を設定して、チーム全体での取り組みが始まりました。

通所リハビリでは、屋外歩行の安定性を高める訓練や耐久性向上のメニューを実施。バランスや歩行速度を定期的に測定し、数値化してご本人にフィードバックしました。



また、デイサービスでは機能訓練を行うなど運動量を増やし、自宅では安全対策としてトイレに手すりを設置。ケアマネジャーを中心に体調や家族状況を共有しながら支援を継続しました。

旅行はまだ実現できていませんが、歩行の安定性は改善。

これまで通所リハビリの利用日は、マンションの自室までスタッフがお迎えに行っていましたが、今ではご自身で1階まで降りてこられるようになりました。「旅行に行きたい」という思いの実現を目指して、運動にも積極的に取り組まれています。

百年橋リハビリテーション病院・通所リハビリテーション(デイケア)では、運動や訓練を継続したいという強い意志を尊重し、退院しても機能回復を果たしたい方への充実したリハビリを提供されています。

Bさんはリハビリに対する意欲が高く、「もっと体を良くしたい」という強い思いを持たれていました。旅行や親戚宅への訪問を目標に掲げ、その目標をチームで共有することで、一丸となって取り組めるようにするため、本事業へご参加いただきました。

リハビリを続けることで身体機能を保つことができました。今回の取り組みが自分自身だけでなく、他利用者の方達にも皆さんで取り組んで頂けたらいいなと思います。また次回も機会があれば、参加したいですね。

<B様より>

チームスローガン

明日への一歩 ～あの桜をもう一度見よう～

目標

「杖で歩けるようになりたい」

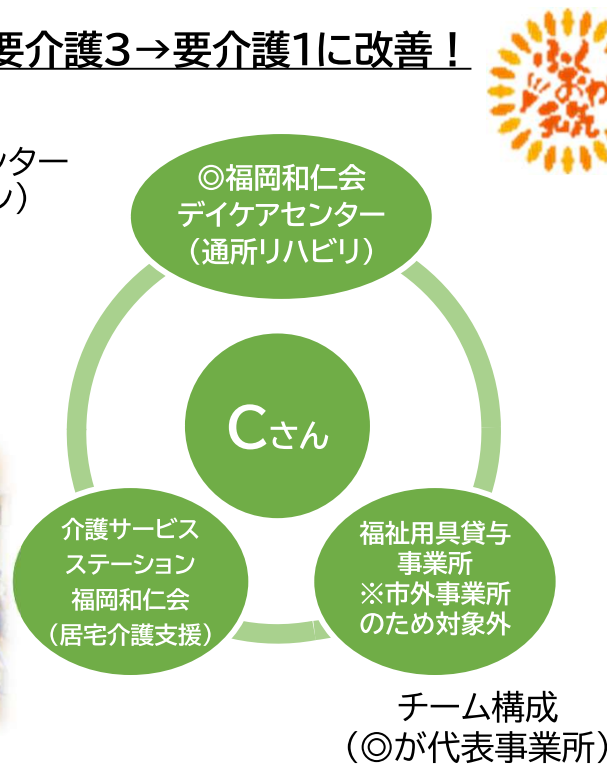
「近所の神社まで歩き、妻と桜を見に行きたい」

○ご利用者

Cさん、80代、男性 **要介護3→要介護1に改善！**

○代表事業所

福岡和仁会デイケアセンター
(通所リハビリテーション)



取組み内容

奥様と二人暮らしのCさんは、元気な頃はゴルフを楽しまれるなど活動的に過ごされていましたが、しかし、自宅での入浴中に意識を失い救急搬送されたことをきっかけに、コロナ感染など様々な病気が続き、リハビリの目的で一時入院。退院後は、介護サービスの利用を拒否をされるなど、閉じこもりがちな生活が続いていました。

そのような状況のなか、ケアマネジャーからデイケアの体験利用を提案。当初は運動意欲が低く、リハビリに否定的でしたが、麻雀や花見といった興味のある話題をきっかけに会話を重ね、**少しずつ信頼関係を築いていきました。**

運動は、低負荷・短時間からスタート。本人の気持ちを尊重しつつ、段階的に筋力・持久力の向上を図ることで、歩行器歩行から杖歩行へステップアップすることができました。

また、ご家族からの情報をもとに、塗り絵や間違い探しなど、興味に合った活動を取り入れ、**楽しみながら参加できる環境を整えていきました。**

その結果、奥様の付き添いのもと、**近隣の神社まで歩くという目標を達成。**桜の季節には間に合わなかったものの、大きな自信につながりました。

当初は表情が硬かったCさんですが、次第に笑顔が増え、**自らマシントレーニングに取り組む姿が見られるように。**奥様も安心して外出できるようになり、介護負担の軽減にもつながりました。

福岡和仁会デイケアセンターは、ご利用者が可能な限り在宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要なリハビリを行い、心身機能の維持・回復を図ることを目的とされています。

Cさんは閉じこもりがちな生活を送っていましたが、デイケアの利用をきっかけに「杖で歩きたい」という目標を持たれるようになりました。本事業に参加後は、目標を更に具体的にし、共有することで、チーム一丸となって取り組めるようになりました。

今回参加させて頂き、ご本人の目標を明確にし、チーム一丸となって取り組むことが重要だと再認識しました。今後も具体的な目標設定や利用者様が満足できるようなサービスを提供したいと思います。

<福岡和仁会デイケアセンター 萩原様より>

チームスローガン

運動を楽しく行ってもらおう！

～楽しみながら身体機能を維持・向上して買い物に行けるために～

目標

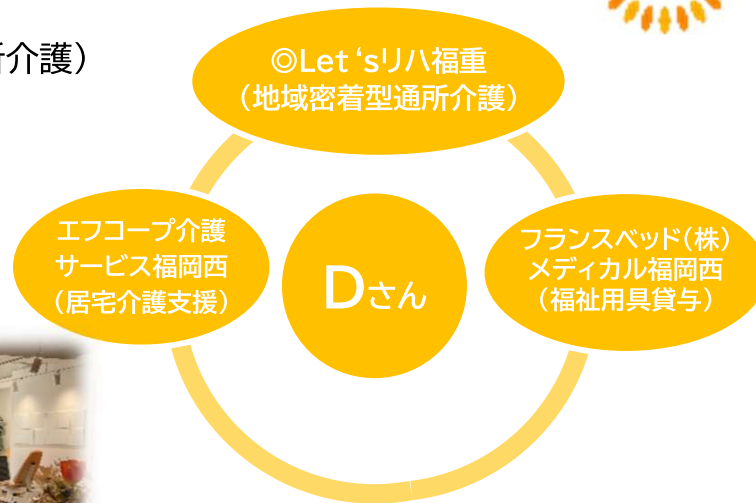
「橋本八幡宮に行ったり、ドン・キホーテに買い物に行けるように、筋力・体力をつけたい」

○ご利用者

Dさん、60代、男性 **要介護2→要支援2に改善！**

○代表事業所

Let'sリハ福重
(地域密着型通所介護)



チーム構成
(◎が代表事業所)

Let'sリハ福重は、リハビリに力を入れている桜十字福岡病院がプロデュースするデイサービスです。リハビリの専門家が常駐し、各利用者にあったプログラムを立案しています。

Dさんは、抗がん剤の副作用による歩行時の痛みが原因で、外出を控えられており、筋力が低下しておりました。運動不足を解消し、安心して外出が出来るように、目標達成の後押しになるようにとの思いで本事業へご参加いただきました。

取組み内容

Dさんはご自身のことを多く語るタイプではありませんが、以前は歩いて外出することを楽しみにされていました。しかし、がん治療の後から痛みが続くようになり、次第に外出が困難に。それでも、**身体機能を維持・向上し、外出をしたい**という思いでチーム全体での取組みが始まりました。

デイサービスでは、歩行時の痛みで長距離を歩くことが難しいため、**マシンを使用した筋力トレーニングや有酸素運動を実施**。体調を丁寧にヒアリングし、その日の状態に合わせて理学療法士が適切な運動を選び、無理なく継続できるよう工夫しました。

Dさん自身もモチベーションが高く、筋力測定の結果などを共有し、成果が見えるようにすることで、より楽しんで運動に取り組むように。ご自宅でも行える運動を提案し、**ご本人が取り組みやすい形で継続出来るよう支援**しています。

その結果、痛みの少ない日は、**外出することが可能に**。

痛みのために長距離歩行はまだ難しいものの、筋力や体力を維持できており、**体調が良い日は外食や映画鑑賞も楽しめるまでに回復**しました。

今回初めて、ふくおか元気向上チャレンジに参加させていただきました。利用者様に改めて事業所全体、チーム一丸となって関わらせていただき、心身面や機能面に深く触れることができ、ご本人様のニーズに対して、適切なサービスを提供することができたと思います。これからも日々、挑戦と改善からより良いサービスをお届けできるように努めていきたいと思っております。

< Let'sリハ福重 スタッフの皆様より >